

3. 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文：論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円(税込)、超過頁は1頁につき7,350円(税込)、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円(税込)、6頁以上は1頁毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
8. 著作権：当誌に掲載する著作物の複写、複製、転載、翻訳、データベースへのとりこみ及び送信等の権利は、泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. 別刷：30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

編 集 後 記

今、医学領域はヒト inducible Pluripotent Stem Cell (iPS) の話題でもちきりである。京都大学再生医科学研究所の山中教授がヒト皮膚細胞に Oct3/4, Sox2, c-Myc, Klf4 の4つの遺伝子を組み込むことで、ES細胞に類似した多分化能を持つ細胞の作成に成功したのである。昨年のマウスでの成功は知ってはいたが、これほど早くヒトでの成功につながるとは予想していなかった。癌化などの問題をクリアする必要はあるが、この基本技術が臨床応用に結びつけばノーベル賞に値することは確実である。

政府はオールジャパンとして本研究をサポートすると発表しているが、競争は激烈になると予想される。Cell誌での発表から2カ月も経っていないが、すでに米国から iPS を使ったマウスの貧血治療の報告、さらには導入する遺伝子数を減らした iPS の樹立の報告があり、もう遅れをとっている感さえある。

京大の再生医科学研究所は ES細胞研究も盛んだが、2001年47巻12号の編集後記にも書いたように、私自身は ES細胞研究に取り組んではこなかった。しかし、この iPS細胞には非常に興味をもっている。「皆がやるから私も」という研究姿勢は好まないが、泌尿器科領域の諸問題解決にも応用可能な技術である。幸い再生医科学研究所はアクセスも近く交流もある。情報のアンテナを張りながら、この行方を見守ろうと思っている。

(小川 修)